

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成 28 年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
河川水の溶存物質・浮遊物フラックスに基づく小規模流域の風化・侵食速度推定技術の開発 （研究期間：H28 年度～H30 年度）	新潟大学災害・復興 科学研究所 准教授 渡部直喜	B
<p><研究概要></p> <p>本研究の目的は、土砂災害の軽減に焦点を結び、化学的風化・侵食速度を推定し、小規模流域毎の危険度評価、さらには危険度の経時的変化を把握する手法の開発である。迅速・簡便かつ比較的安価に実測できる項目（河川水の電気伝導度・濁度、河川水位など）と最小限の観測データを利用し、各小流域に固有の化学的風化/侵食特性から流域内の土砂の残留状況を把握し、砂防計画に貢献する。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、化学的風化による岩石材料の流出量を定量化しており、貴重なデータ取得が行えており、体系的な流域の風化・侵食速度を推定する方法を示せたことは評価に値する。また水質から各流域の土砂生産量見積りの可能性が示唆された。</p> <p>今後は風化と浸食の関係等をさらにデータを用いて整理するとともに、成果の発表および既往研究のレビュー等を通して、外部の情報をさらに研究に取り入れて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い